

事例 29 国有林野を利用した小水力発電所

(中部森林管理局 中信森林管理署)



- 長野県 塩尻市（しおじりし）
奈良井（ならい）国有林
- 奈良井川萱ヶ平（かやがだいら）
小水力発電所の取水施設

中部森林管理局中信森林管理署では、治山ダム下流側で効率的に取水したい小水力発電事業者に対して、治山ダムに隣接する形で取水施設を設置するための用地の使用を許可し、令和2年1月には小水力発電施設が完成し稼働を始めました。

使用の許可に当たっては、治山ダムの機能や維持管理に支障の無いことを確認等した上で行いました。

今後も、再生可能エネルギー発電事業者等から国有林野の利活用の要望があれば、法令等に即して適切に対応することで、地域振興や地球温暖化対策等に貢献していきます。